

DX推進基盤の整備

第2期中期経営計画の戦略課題

4

最高の顧客体験価値の創造を目的とした漢方バリューチェーンのDX化による安定供給・ローコストオペレーション体制の確立と製品価値の向上



パーパスを起点としたDX基盤と価値創造の推進

DX活用によるツムラ流成長モデル

ツムラは、パーパスを起点とした持続的な価値創造を支える基盤としてDXを位置づけ、経営層と現場をつなぐ全社的な体制として「DX推進委員会」を設置しています。同委員会は、製品価値の向上や安定供給、ローコストオペレーション、自動化・ロボット化など、事業成長と企業価値向上に直結するテーマに沿って全社横断の施策を管理・推進しています。

そしてDXを通じて、漢方事業と新規事業の双方における価値創造の仕組みを洗練・強化することを目指し、全体構想を策定しました。漢方事業では、営業活動・販売実績・市場データ等の分析高度化により、医師一人ひとりのニーズに応じた情報提供の質を高めています。加えて、データ分析に基づく製品品質のさらなる向上にも取り組んでいます。また、SCP*の仕組み刷新により、安定供給とローコストオペレーションの両立を実現するとともに、在庫最適化によるCCC改善を推進しています。さらに、ヒューマノイドロボットの活用など自動化を進めるとともに、AI技術を随所に導入することで、スマートファクトリー化を推進しています。新規事業では、未病・養生領域において、製品に加え、当社独自のデータと多様なパートナーとの協働を通じて、明確な

解決策が確立されていない健康課題に対する新たな価値創出を目指す構想を描いています。

これらのデータ価値を最大化するため、データ活用基盤の整備とDX人材の育成を一体的に推進しています。個人の業務知見や判断を組織全体で活用可能な資産へ転換することで、継続的な価値創出を実現していきます。

*販売予測を起点に、生産・調達・在庫を最適化するサプライチェーン計画

AIを活用した業務変革の推進

当社はAIを業務で当たり前を活用するものと位置づけ、業務スタイルの転換を進めています。議事録作成、情報検索、文書作成・添削などの日常業務でAIの活用が浸透したことで、生産性向上の効果が着実に表れています。こうした成果を踏まえ、現在は、社内情報基盤の整備、AIエージェントの活用など、AIとの協働を前提に業務プロセスを再構築し、業務運営への組み込みを進めています。AIの活用が進展する中で、人にしか生み出せない価値はより明確になっていきます。人とAIが各々の強みをかけ合わせ、100年先を見据えた持続的な事業成長の実現に向け、変革を推進していきます。

DX活用によるツムラ流成長モデル

